令和８年 11 月 13 日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン臨時号（第４６２号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

＜トピックス＞

１．規模拡大や他地域展開のきっかけに！農業参入フェア 2026 開催（大阪・東京）

２．「令和８年度 病害虫発生予報第９号」（令和８年 11 月 11 日(水)付け）を発表しました

３．農林漁業バイオ燃料法に基づく支援措置について

４．「スマート農業技術を活用した新たな生産方式推進シンポジウム」を開催します！

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

１．規模拡大や他地域展開のきっかけに！農業参入フェア 2026 開催（大阪・東京）

農林水産省では、大阪会場（12 月８日（火））と東京会場（12 月 17 日（木））において、参入希望企業・農業法人と企業誘致に取り組む自治体等とのマッチングイベント「農業参入フェア 2026」を開催します。

会場では､企業や農業法人の誘致に取り組む全国の自治体等から､農地の状況や受入環境、支援制度等について直接話を聞くことができます。
実際に、本フェアでの相談をきっかけに他地域への進出を実現した農業法人もあります。

規模拡大や他地域での営農を検討している企業・農業法人の皆様は、ぜひ会場で各自治体等の話を聞いてみてください。

■大阪会場（27 道府県出展予定）
日時：令和８年 12 月８日（火曜日）13 時 00 分～17 時 00 分
会場：グランキューブ大阪 イベントホール E
事例セミナー登壇者：
・株式会社ファーマインド
・ポッカサッポロフード＆ビバレッジ株式会社

■東京会場（34 道府県出展予定）
日時：令和８年 12 月 17 日（木曜日）13 時 00 分～17 時 00 分
会場：東京国際フォーラム ホール B7
事例セミナー登壇者：
・アイリスオーヤマ株式会社
・ヒューリック株式会社

◇ 申込はこちら（参加無料）（フェア申込特設サイト）
→ https://area18.smp.ne.jp/area/is?SMPFORM=mbpa-mcsali-b9c820acec5360f48ba1516c458fd2df

◇ 詳細はこちら（農林水産省 Web）
→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/sannyu/sannyufair.html

◇ お問い合わせ先
農林水産省経営局経営政策課（担当：担い手・法人企画班）
TEL：03-6744-2143（直通）

２．「令和８年度 病害虫発生予報第９号」（令和８年 11 月 11 日(水)付け）を発表しました

農林水産省は、今後の農作物の病害虫発生動向や防除について「令和８年度病害虫発生予報第９号」を発表しました。

気象庁の向こう１か月の予報（11 月５日付け）では、平均気温は、北日本では平年並み、東日本、西日本及び沖縄・奄美では高いと予想されています。降水量は、西日本太平洋側では平年並みか多い、その他の地域では、ほぼ平年並みと予想されています。日照時間は、西日本太平洋側では平年並みか少ない、その他の地域では、ほぼ平年並みと予想されています。

野菜・花きでは、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ及びハスモンヨトウの発生が、関東、東海及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。

果樹・茶では、ハダニ類の発生が東海及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、いちごのハダニ類等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるの

で、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期の防除を実施してください。

◇ 「令和８年度 病害虫発生予報第９号」の発表について（令和８年 11 月 11 日(水)付け農林水産省プレスリリース）はこちらから（農林水産省 Web）
→ https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/261111.html
※ 都道府県の発表する病害虫発生予察情報と併せてご利用ください。

◇ 都道府県の病害虫発生予察情報などはこちらから（農林水産省 Web）
→ https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html

◇ お問い合わせ先
農林水産省消費・安全局植物防疫課（担当：国内防除第２班）
TEL：03-3502-3382（直通）

３．農林漁業バイオ燃料法に基づく支援措置について

農林水産省では、農林漁業バイオ燃料法に基づき、家畜排せつ物等のバイオマス資源を活用したバイオ燃料の製造や、その原材料生産等に係る研究・開発を支援しています。

近年、家畜排せつ物をメタン発酵し、発生したバイオガスを発電や熱利用に活用する取組への関心が高まっています。こうした取組について、畜産農家と関係事業者が連携して行う事業が農林漁業バイオ燃料法に基づく「生産製造連携事業計画」として認定された場合、バイオガス製造設備の固定資産税の課税標準額を軽減する特例措置や無利子貸付の農業改良資金の償還期間を延長する支援措置等を活用することが可能です。家畜排せつ物の適正処理や資源循環、エネルギー利用の高度化等に向けて、バイオガスの製造をご検討される際には、本認定制度の活用についてもぜひご検討ください。

◇ 農林漁業バイオ燃料法関連情報についてはこちら（農林水産省 Web）
→ https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/

◇ 農林漁業バイオ燃料法パンフレット(PDF:1,903KB)についてはこちら(農林水産省 Web)
→ https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/attach/pdf/index-68.pdf

◇ お問い合わせ先
農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課（担当：バイオ燃料班）
TEL：03-6738-6478（直通）

４．「スマート農業技術を活用した新たな生産方式推進シンポジウム」を開催します！

令和８年 12 月３日～４日、兵庫県（神戸市・洲本市）で「スマート農業技術を活用した新たな生産方式推進シンポジウム（土地利用型農業編）」を開催します！

スマート農業は気になるけれど、「費用が高い」「難しそう」「本当に効果があるのか分からない」と感じていませんか。本シンポジウムでは、実際に導入した農業者が効果や苦労話などを紹介します。さらに、農研機構による最新技術情報の講演に加え、スマート農業技術の展示や現地実演会も実施。見て、聞いて、学べる２日間です！ぜひ来場してスマート農業の第一歩を踏み出すヒントを見つけませんか。

～プログラム～
■ 12 月３日（神戸市）　講演会・技術展示会
★講演会
先進農業者（つじ農園）による実践報告
農研機構等による最新技術の紹介　（水稲、露地野菜、農業支援サービス など）
★技術展示会
スマート農業機器やサービスを展示
メーカー担当者等へ直接相談可能！
■ 12 月４日（洲本市、神戸駅より貸切バスで移動）　現地実演会
自動操舵トラクタ、ドローン、病害虫予察システム、ラジコン草刈機
など、実際に動くスマート農業技術を間近でご覧いただけます！

参加費は無料です！
オンライン参加も可能ですが、技術展示や現地実演は、会場参加ならではの体験となっています。
ぜひ会場へお越しください！

◇ イベントの詳細・参加のお申込みはこちら（全国農業改良普及支援協会 web）
→ https://www.jadea.org/news/20261022/

◇ お問い合わせ先
（一社）全国農業改良普及支援協会（担当：佐野）
TEL：03-5817-4992

■ 経営局公式 Facebook ページ「農水省・農業経営者 net」

→ https://www.facebook.com/nogyokeiei

■ ご意見・ご質問はこちら
→ https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/180817.html

■ リンク URL の一部に PDF 形式のものがあります
メールマガジンに記載した URL で、一部 PDF 形式のものがあります。PDF ファイルをご覧いただくためには、農林水産省ホームページ「3 PDF ファイルについて」をご覧になり、「GetAdobeReader」のアイコンで AdobeReader をダウンロードしてください。
→ https://www.maff.go.jp/j/use/link.html

◆◇◆

○ 電子出版：農業担い手メールマガジン
○ 発行日　：毎月１回発行
○ 発行元　：農林水産省経営局経営政策課　担当：大木

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから
→ https://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyou/hyousyou_merumaga.html
☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから
→ https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html
◆◇◆